

Selen Gülün

piano, vocal

セレン・ギュリュン ピアノ、ヴォーカル

作曲家、ピアニスト、歌手、編曲者、講師。イスタンブール大学国立コンサートリイで音楽を学んだ後、イスタンブール大学経営学科を卒業。その後、イスタンブールのミマル・シナン大学国立コンサートリイにて、さらに音楽教育を受ける。1996年には、奨学金を得てパークリー音楽大学に進学。98年には同校のジャズ作曲学科を首席で卒業。イスタンブールに帰国後、2003年にはイスタンブール工科大学のCenter of Advanced Studies in Music (MIAM)にて音楽の修士号を取得した。

様々な現代音楽のスタイルでの作曲やパフォーマンスが特徴。彼女が作曲した音楽は、母国トルコのみならず、ヨーロッパの12カ国とブラジル、米国、日本、カンボジア、パキスタン、ロシア、モザンビーク、オーストリア等、世界20カ国で演奏されている。これまでに6枚のアルバムを制作。「Answers」(2010年)はディスクユニオンのJazz Tokyo Weekly Chartにて第6位、「Başka」(2013年)は第4位を獲得している。

17年4月にリリースされた「Kadinlar Matinesi」(女性のマチーネ)はトルコの様々な女性作曲家、作詞家の曲を演奏したライブシリーズをもとに制作したものである。イタリア人のMarcello AllulliとEmanuele De Raymondiと共に、3人のコラボレーションによる新たなプロジェクトGülün / Allulli / De Raymondiを開始し、KAPI(トルコで「ドア」という意味)を2016年11月にイタリアのレーベルEvArtからリリース、2017年2月にはインターネットでも配信された。

彼女の楽曲はDartford Symphony OrchestraとVellinger String Quartet(イギリス)、Phil Wilson's Rainbow Band(米国)、Ensemble TRIS(オーストリア)、sa.ne.na Percussion EnsembleとIstanbul Modern Music Ensemble(トルコ)によって初演されている。

現在は、2018年に出版される予定の「Woman Composers of Turkey」(「トルコの女性作曲家」と題されたローマのFondazione Adkins Chitiによって委託された本を執筆中。

彼女はまた、教育者として今もオズエイン大学およびビルギ大学で教壇に立っており、1998~2015年には、ビルギ大学音楽科にてピアノと音楽理論、および作曲の教鞭をとっていた。パークリー音楽大学やニュー・スクール大学(アメリカ)、マルメ音楽アカデミー(スウェーデン)、ユトレヒト芸術大学(オランダ)、TEDx ボスフォラス大学(トルコ)において、ニュー・ミュージックとコンテンポラリー・ミュージックに関する講演を行うなど、ミュージシャンと同時に教育者としての活動も続けている。

DISCOGRAPHY

- 「Just About Jazz Live」(recjazz 2006)
- 「Selen Gülün Trio Sürprizler」(recjazz 2006)
- 「Selen Gülün by Selen Gülün」(re:konstruKt 2009)
- 「Answers」(pozitif 2010)
- 「Başka」(linrecords 2013)
- 「Kadinlar Matinesi」(A.K. Muzik 2017)
- Gulun / Allulli / De Raymondi
- 「KAPI」(EvArt 2016)

<http://selengulun.com/>

Photo: Seyhan Camgoz